

# THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

ロータリー：変化をもたらす

Rotary : Making a Difference

RI 会長 イアン H.S. ライズリー

2017~2018

少年・少女の夢再び



富津中央RC会長 石渡 鋼

国際ロータリー 第 2790 地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12  
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

## No.2505 第14回例会 2017. 10. 19 雨

点 鐘：石渡 鋼 会長

進 行：大網庄一郎 SAA

ソング：我等の生業

農業関係はもとより漁業、イベント事業、交通、こと建設土木の屋外作業に至っては、且つての当事者の愚生には痛い程分かるところです。太陽・お天道様の恵と、日ごろは簡単に、また当たり前として過ぎて居りますが、このような自然現象が地球環境の悪化と関係無きことを祈るばかりです。

### 会長挨拶

石渡 鋼 会長



皆さん、こんにちは、本日もこの本降りの雨の中ようこそ例会にお出で下さいました。例会というのは雨が降ろうが槍が降ろうが簡単には止めてはいけないものと、昔先輩が言われていたような気がします。しかし外出が危険と思われる事態には会長名で臨時休会の発令をすることになるのでしょうか？

若い頃は天気の話などほとんど触れることは無かったように覚えておりますが、そのころでも雨がこれだけ続けば、愚痴の一つも言いたくなったことでしょう。会員の多くの皆さんが空を見上げて嘆かれて居られる姿を想像せずにはおられません。先ほど隣り合って食事をしたマザー牧場石井会員もその一人で、秋晴れの青空と真っ赤なサルビアの姿を切望されておりました。石井会員のみならず

### 幹事報告

平野安照 幹事



1. 富津市国際交流協会よりお知らせ受領(回覧)
2. 木更津 RC より例会変更のお知らせ受領  
11月 2日(木) 休会(クラブ定款第8条第1節)  
11月23日(木) 休会(クラブ定款第8条第1節)
3. 袖ヶ浦 RC より例会変更のお知らせ受領  
11月 6日(月)(株)荏原エリオット(工場視察)  
11月12日(日)~13日(月)親睦旅行:秩父・伊香保温泉方面  
11月26日(日)袖ヶ浦市百目木公園野球場:  
ゆり友遊ボール大会  
(雨天の場合12月3日へ順延)
4. 上総 RC、富津シティーRC より週報受領(回覧)

〒293-0043 富津市岩瀬 841-3

いち川旅館 Ichikawa ryokan

841-3 Iwase Futtsu-shi Chiba-ken,

Tel. 0439-65-0177 Fax. 0439-65-0178

URL <http://www.futtsuchuo-rotary.org>

Mail [home@futtsuchuo-rotary.org](mailto:home@futtsuchuo-rotary.org)



## 委員会報告

小野 恒靖 会員



千葉研修リーダーより“クラブの活性化”について卓話を依頼されましたのでグループの皆さんとディスカッションをしたいと思いますのでよろしくお願いいたします。メンバーは高橋会員、渡辺哲夫会員、大網会員、多田会員、石渡会長の6人です。炉辺会合形式で行います。24日、18時大網邸です。活発な意見をお待ちしています。

記念誌編集委員長 須藤 隆



### 創立50周年記念誌進捗報告

昨年11月に50周年記念式典を終え、記念誌作成に取り掛かりました。当時の会員の皆様全員に3月までプロフィールの原稿を提出して頂き半年が過ぎようとしております。その後、会員の自由投稿も含め、掲載を予定していた原稿が出そろい、編集委員会を何度か開いて記念誌の骨格を固め、内容の材料もほぼ完成して最終的な詰めをしている段階です。先週の日曜日に編集会議を行い、そこで完成目標を今年度中と決めました。なお、今年度に入って新しい会員が入会されましたが、記念誌に掲載する会員プロフィールは前年度までの会員を対象としておりますのでご了解願います。

米山担当部長 千葉 一利

今月は米山月間です。特別寄付 10,000 円の集金をさせて頂いています。事務局が集金しますので喜んで寄付をしていただければ幸いです。

心と財布に余裕のある方は、米山功労者 100,000 円、どうでしょうか。よろしくお願いいたします。

キッズミュージカル公演の案内

渡辺 勉 会員

トゥルーカラーズこの歌が届くころ

1 番欲しいプレゼントは何ですか？

平成 29 年 11 月 5 日(日)13 時 30 分

於 富津市民会館ホール(富津市文化祭参加)

前売り券 800 円 当日券 1,000 円

大人小人同一料金・ひざ上幼児 3 歳以下無料

感動の公演です。是非、ご家族で来てください。

## 卓話

「安全のための害獣駆除」

椎熊 邦広 会員



皆さん、こんにちは。今日は卓話をさせて頂きます。このところ色々な用事で忙しく、すっかり卓話の準備をするのを忘れていました。思いつくままに、お話させていただきます。

私は現在、富津市の猟友会に所属しております。生き物の生と死にかかわることなので、表立って話にくい面もありますが、お話しさせていただきます。

富津市全域において、地域の方々が害獣の被害に悩まされております。そこで私たち猟友会は国・県・市よりの要請で駆除を実施しております。富津市猟友会には、約 50 人が所属しております。そ

の内、檻で捕獲をしているメンバーは約10人です。富津市全体の捕獲数は年間、約3700頭ですが私たちの檻では約250頭を捕獲しています。

捕獲数が多くなると、その処分がなかなか追いつきません。焼却、埋葬で行っております。

害獣とされているイノシシ、鹿、キョンなどの個体数が減少し、私たち人間と共生できることが望ましい形と思っていますが、その日はまだまだ遠い気がします。これからも、市民の安全な暮らしを守るために活動をしていきます。皆様のご理解をよろしくお願いします。



イノシシの牙（神子恒会員キーホルダー）

## 卓話

「城崎にて」

榎本 守男 会員



会長年度が終了すると、ロータリー関係のメール一切なし、電話もなく、クラブで話すことも激減し、チョット寂しさを感じています。昨年は、複式呼吸で発声練習をして例会に臨んでいました。今日は、石渡会長、平野幹事から時間が余った時の調整役として卓話を依頼されていたので、久しぶりにお

話しさせていただきます。

このところ、雨続きの寒い毎日が続いておりますので、今日は温泉の話で、心から温まっていたきたいと思い人気の温泉のベスト20を調べてみました。

人気ナンバーワンは、今も昔も熱海温泉です。昔は新婚旅行のメッカ、今は東京から近く再ブレイクし、家族旅行・個人旅行の定番となっております。徳川家康が愛した温泉で1500年前、海中から熱湯が噴出して魚が死ぬほど熱い湯から熱海と名付けられたそうです。第2位別府温泉です。日本一の源泉数と湧出量を誇ります。血の池地獄、海地獄、竜巻地獄、白池地獄の4つが「別府の地獄」として国の名勝に指定されています。3番目が草津温泉です。湯畑を中心とした温泉街が特徴です。時間の関係で紹介はベスト3までとさせていただきますが、皇室の御料御湯として宮城の秋保温泉、愛媛の道後温泉、兵庫の有馬温泉があります。有馬温泉には白石幸久会長の時に大阪ドームで開催された国際大会に出席し、宿泊先の有馬温泉で赤湯につかって疲れをいやしました。2005年ですから、もう、12年前になります。

これから話をするのは20番人気の温泉地、城崎温泉です。

城崎といえば、兵庫県議の号泣で有名になりました。106回の視察陳情、政務活動費を流用してのプライベート出張としてマイナスのイメージがついてしまいました。

関西の奥座敷と言えば有馬温泉ですが、海道1番の温泉地と言えば城崎温泉のようです。温泉の町としての風情があり、川沿いに柳が揺れ、派手な歓楽街もなく古いたたずまいが残っている温泉地です。街をゆっくり散策すると、全体が一つの宿になっていて、そこに並び立つ調和のとれた温泉街だと感じるはずですよ。

食事はカニ料理が一番のウリです。境港である紅ズワイカニ・松葉ガニが冬の味覚です。これから旬を迎えますので是非ご賞味ください。

もう一つ、城崎と言えば小説「城崎にて」です。志賀直哉(1883年～1971年)が大正6年に発表しています。「城崎にて」は、小説というよりエッセイです。



私小説のジャンルに入りますが、心境小説といったほうが正確だと思います。ずっと昔に読まれた方もあると思いますが、あらすじを紹介します。

主人公志賀直哉は、山手線で電車にはねられ怪我をします。背中に傷を負っただけですが養生の為、城崎温泉に出かけます。医者によると、「この2~3年で脊椎カリエスにならないと大丈夫」とのことでした。一人きりだったので別段することもなく、読む 書く、散歩する毎日でした。

事故の影響で物忘れも多くなり頭もはっきりしませんでしたでしたが心は落ち着いていました。一歩間違えれば、命を落としていたかもしれません。妙にあの世が身近に感じられるようになり、城崎で過ごすうちに様々な生き物に出会いました。

部屋の周りを 蜂が飛び交っていました。次の日、蜂が力尽きているのを発見、そして次の晩の雨で流されて見当たりませんでした。

別の日に、ネズミと出会います。首には魚串が刺さっており、水面から上がれず、もがいていました。周囲の人は、石を投げたりして遊んでいます。それらの生き物を事故にあった自分と重ね合わせて親しみ感じる主人公でした。

しばらくして、今度はイモリと出会います。主人公は イモリを 驚かせようと 小石を投げてみました。イモリを狙う気は全くありませんでしたが、小石はイモリを直撃し、その小さな命を奪ってしまったのです。

偶然にも生き物の命を奪ってしまった自分に嫌気がさし、しばらく座り込んでしまいます。偶然に命を落としたイモリ、偶然にも命拾いした自分、そして、以前に出会った蜂や ネズミ達を考えると、彼らと自分の差はそれほどないのではないかと思えてきました。

生と死、それらは、両極端にあるものではないと悟ったのです。三週間の養生を経て主人公は城崎を後にします。物語は以上です。

先ほど椎熊会員の卓話で取り上げられた、繁殖しすぎて地域住民の安全と生産活動がイノシシ・鹿・キョンに脅かされている話、そして、その駆除が追い付かず、苦勞されている話も拝聴しました。駆

除はこの地域では不可欠な活動です。今では害獣と呼ばれているイノシシ・鹿・キョンも増殖する前は、人間との一定の距離を保って生存し、たまに遭遇する愛らしい動物だったような気がします。人間の領域がどこまでなのか規定するのは難しい事だと思います。

最後に志賀直哉の言葉を借用して今日の卓話を締めくくります。「人間も生き物も、大も小も、しっかりと生きている。」

## ニコニコBOX

- 神子勝美 親睦担当部長  
栗原典子 ユニセフコンペに参加して勉強させていただきました。  
渡辺 勉 トゥルーカラーズ キッズミュージカルのコマーシャルをさせて頂いて。  
榎本守男 クライマックス、カープ先勝御礼 & 本日、卓話をさせて頂いて。

## 出席報告

平川 恵敏 出席担当部長

区分	会員数	出席	欠席	MUp	出席率
今回	34/30	19	11		63.33%
前回	34/32	23	8	2(1)	78.13%
前々回	34/31	22	8	2(1)	77.42%



今日のランチ